

No.95

■発行／奈良市議会
■編集／奈良市議会だより
編集委員会



〒630-8580
奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎(0742)34-4734

奈良市議会だよりは年4回（2月、5月、8月、11月）の発行予定です。



みんなで作ったカレーライス、おいしい！おかわり！！（青少年野外活動センター）

6月定例会

議長に橋本和信氏を選出 副議長に奥田正治氏

本市議会は、平成20年6月定例会を6月18日から27日までの10日間の会期で開きました。この定例会では、議長、副議長の選挙を行い、議長に橋本和信氏、副議長に奥田正治氏を選出しました。また、常任委員会の委員の選任などを行いました。このほか、市長提出の報告18件、議案14件をいずれも原案どおり可決しました。市長提出の人事案件では、監査委員など5件の案件に同意しました。

就任のあいさつ



議長 橋本和信



副議長 奥田正治

市民の皆様には、平素から市議会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

私ども、このたびの6月定例会におきまして、奈良市議会議長及び副議長に就任いたしました。

その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。もとより微力ではございますが、市政の発展と公正で円滑な議会運営に誠心誠意努力をする決意でございます。

さて、現在、本市では平成遷都1300年を迎える平成22年度を目標年度とする奈良市第3次総合計画後期基本計画に基づき、市民の皆様が誇れるまちの創造に向けて取り組みがなされています。

しかし、本市の財政状況は国の三位一体改革による地方交付税や国庫補助金の減少等により、依然厳しい状況にあり、こうしたまちづくりを進めるためには、今後とも力強く行財政改革を推進していかなければなりません。

市議会といたしましても、市民の皆様とともに、創意工夫を重ね、限られた財源を効果的に活かし、民意を最大限反映した市政の推進に取り組み、議事機関としての使命を果たしてまいり所存でございます。

今後とも、皆様の更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさついたします。

質 問 と 答 弁

本 会 議

幼小連携教育や学校施設耐震化
などについて議論

6月23日・24日の本会議では、12人の議員（うち代表質問5人）が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、幼小連携教育などの教育行政や市長の行政姿勢、まちづくりや観光などについて質問がありました。

以下は、質問と答弁の要旨です。

（代表質問には会派名掲載）

教 育

幼小連携教育
具体的な取り組みは

政 翔 会

問 市では、幼小連携教育の重要性を説いているが、具体的な考えと取り組みは。

答 幼児期に、学びの基礎の充実を図ることが大切であり、平成20年度は幼小・小中が連携して効果的な教育を行うことを重点項目の一つに掲げ、活動意欲の向上、社会性の基礎作り、基本的な生活習慣の確立を三つの柱として、小学校教育につなげたいと考え、



何ができるかな？一緒に集めた落ち葉や小枝で（佐保幼稚園・佐保小学校）

私立幼稚園を含め、合計24の保育園・幼稚園・小学校を幼小連携推進モデル校園に指定し、研究を深めている。また、幼小連携の推進の目標をまとめたリーフレットを作成したい。

全教員に配布するとともに、幼稚園や小学校の教員を対象にした研修の充実や保護者への啓発を図り、幼小連携の取り組みを市全域に広げていきたい。

市立小・中学校の
情報教育は

創 政 会

問 市立の小・中学校ではどのような授業で情報教育をしているのか。

答 情報教育推進モデル校の小学校では、算数の図形指導や音楽の和音の指導など、教科指導における効果的な情報機器の活用について研究をしている。

中学校では、職場体験学習に向けての調べ学習や報告文書の作成、さらに学力向上に

向け、自主学習ソフトを活用した英語や数学の反復学習に取り組ませるなど、生徒の主体的な学びに結びつく情報機器の活用について研究を深めている。

また、市の指定研究員制度で作成した小・中学校9年間を見通した情報教育の指導計画を実践事例集と併せ、各学校で活用していきたいと考えている。

学校施設の耐震化
現況と今後の計画は

公明党奈良市議会議員団

問 災害時における地域の避難所等の役割を果たす学校施設について、耐震化の進捗よく状況及び今後の計画は。

答 災害時における地域防災計画で避難施設として指定されている屋内運動場の耐震化を最重要課題と位置づけ、優先的に進めている。

また、新耐震設計基準制定以前に建設した校舎については、奈良県学校施設耐震化ガイドラインに基づき平成19年度策定した第2次耐震診断に向けての学校棟別優先度データーベースを基に、早期に第2次耐震診断を終え、国庫補助

保健福祉

新型インフルエンザ
情報提供との方策

問 市民への新型インフルエンザ対策の予備知識の普及に力を入れるべきと考えるが、具体的な取り組みは。また、インフルエンザの情報提供に関するホットラインの設置についてどう考えるか。

観 光

観光客の誘致に
フィルム・コミッションは

問 今春、テレビ放映されたドラマ「鹿男あをによし」のロケ地となった県内各所の観光客が、場所によつては前年比の5倍以上に増加している。映画、テレビ、CMなどのロケーション撮影が円滑に進む

幼稚園型認定こども園
国からの予算措置は

問 市では幼稚園と保育所の両方の機能を持つ施設として認定こども園（※）を新たに導入しようとしている。その中に公立では全国でもきわめてまれな幼稚園型（認可幼稚園に預かり保育をプラスして、保育所的な機能を備えるもの）がある。あえて認定こども園を導入する場合、最低限、現在の幼稚園や保育園の水準を

満たし、認定を受けた施設。幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型のような多様なタイプが認められる。

意見書

今定例会で可決し、政府等に提出した意見書は次のとおりです。

▽「バイオマス推進基本法」（仮称）の制定を求める意見書

▽仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のまちづくりに関する意見書

5人に表彰状

全国市議会議長会

5月28日、東京で開かれた第84回全国市議会議長会定期総会で、次の5人が表彰を受けました。

- 大谷 督議員
- 議員20年以上特別表彰
- 時 宏明議員
- 矢追 勇夫議員
- 松田 末作議員
- 議員10年以上表彰
- 蔵之上政春議員

用語の解説

※ 認定こども園

幼稚園、保育所等のうち、就学前のこどもに幼児教育・保育を提供する機能、地域における子育て支援を行う機能を備え、国の指針を基に、各都道府県が条例で定めた基準を満たし、認定を受けた施設。

幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型のような多様なタイプが認められる。

※ フィルム・コミッション

映画、テレビドラマ、CM等のあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際の撮影を支援し、スムーズに進めるための非営利公的機関を言う。

地域の情報発信のルートが増え、直接的・間接的経済効果が見込まれ、地域文化の創造や向上につながる。

市民生活

災害時要援護者への
避難支援プラン策定は

高齡化が進む中、災害時に支援を要する方々への支援体制の確立は重要な課題となっている。国は災害時要援護者の避難支援ガイドラインを発表し、その中で避難支援プランの作成などの取り組み方

針を示した。市の災害時要援護者避難支援プラン策定に関する取り組みは。

市庁内関係部署からなる災害時要援護者支援検討会議を設置し、支援体制の確立を目指し検討を進めている。

また、災害時要援護者と想定される高齡者の増加と、地域活動の担い手の減少という厳しい現実の中、医療・保健・福祉の専門家とともに災害時要援護者支援マニュアルの策定に取り組んでいきたい。

まちづくり

三条通り拡幅に反対の声
推進姿勢は変わらないか

日本共産党奈良市議員団

三条通りの拡幅は地元の総意でなく、3分の1の地権者が反対している工区もある。これだけ反対があっても推進の姿勢は変わらないのか。

三条通りの整備は、昭和41年に幅員16メートルで都市計画決定され、平成9年には地元三条通りまちづくり協議会が結成され、この協議会

市立奈良病院に

女性専門病棟設置を

最近、一部の病院で、他人の目を意識せずに入院生活を送れるように、女性専用の病棟が設置されている。

性差医療はこれからも必要性が増すと考えるが、市立奈良病院の新病棟建設に際して、今後女性専門病棟の設置の考えは。

現在、市立奈良病院の病棟1階に、産婦人科を中心とした女性専門の病棟としてレディース病棟を設置している。

市立奈良病院建設基本構想で「少しでも他人の目を気にせずに入院生活を送るための、女性患者に配慮した病棟についても検討する。」としている。

今後の基本設計・実施設計の中で、産婦人科だけに限らず女性患者に配慮した病棟の設置を実現できるよう努めていきたい。

へ165メートルの都市計画街路の事業認可を受け、既に事業を進めていた。これより以西、県道木津横田線までの区間を、JR奈良駅から奈良町辺りへの導入空間として、また市のシンボル道路として、平成19年度に事業認可を受け事業を進めているが、様々な意見があることは認識している。今後も地元まちづくり協議会と共に意見を聞き、理解を得るよう努めていきたい。

また、平成遷都1300年祭には、多くの来訪者を迎えることから、人の動線などを踏まえたハード面の整備についても、協議していく考えである。



遷都1300年祭、慢性的渋滞の緩和は（二条大路南5丁目）

行政姿勢

「市長への手紙」で
寄せられた意見の反映は

市民クラブ

広く市民から市政について意見や要望を聞く「市長への手紙」で、寄せられた意見や提案など、どのように反映

していくのか。

市のホームページにご意見箱を設置して、電子メールにより市民の意見等を受け付けているが、気軽に市政についての意見や提言をお送りいただきたいとの思いから、料金受取人払で意見を郵送していただく「市長への手紙」を平成20年度から実施している。

寄せられた意見は、すべて直接目を通し、今後の市政運営の参考にさせていただく。

また、施策の必要性や実現の可能性等について調査・検討し、積極的に市政に反映することで、市民と行政が協働する市政運営を推進していきたい。

抜本的対策の検討
土地開発公社保有土地

市の包括外部監査で毎回指摘を受けている土地開発公社保有の土地は、具体的利用計画が無いまま利息だけ毎年数億円も税金から支払わなければならない。まさに市の不良債権そのものとも言える。抜本的な対策の検討は。

財政状況の悪化による事業の繰り延べ等に伴う長期保有土地の増加、また保有土地価格の下落による資産価値の減少等、土地開発公社を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況である。

平成18年3月に土地開発公社経営健全化計画を策定し、公社の経営の健全化を図っている。今後もこの健全化計画

人事案件

監査委員

議員のうちから選任する監査委員に三浦教次氏と大橋雪子氏を選任することに同意しました。

また、任期満了に伴う吉田肇氏の再任に同意しました。

農業委員

7月19日が任期満了の農業委員会の委員に次の4人を推薦しました。

中西吉日出氏 西本守直氏

森田一成氏 高橋克己氏

人権擁護委員の候補者

馬場野幸代氏、水谷登美子氏の推薦に同意しました。

会派構成の変更

去る6月25日、矢野兵治議員が政翔会を退会し、同30日、天野秀治議員（無所属）が政友会に入会しました。

老春手帳優遇措置事業
検討特別委員会報告

老春手帳優遇措置事業の今後のあり方について、調査・検討を行うため、平成20年3月定例会において設置された老春手帳優遇措置事業検討特別委員会は、関係理事者出席を願い、調査に必要な資料の提出を求め、また12団体延べ17人の参考人からの意見も拝聴し、延べ9回にわたって集中審議を行いました。

その概要については、委員長から6月18日の本会議に報告されました。

以下は委員長報告の要旨です。

委員会では、まず、各委員からの質疑等が行われ、理事者より、これまでの見直し案の提案の都度受けた意見や、老春手帳優遇制度検討委員会の提言を受けて、本事業を今後も円滑に継続実施していく方策として制度の改定を図ろうとするものである等の答弁がありました。

次に、参考人の意見陳述を受け委員より理事者に対し質疑がありました。

これらのことを踏まえ、各会派から提言、提案が出されました。

また、各会派から示された意見は、理事者提案の改正案に原則賛成するということも多数意見でありました。

しかし、ワンコインでは、

利用者負担が現行制度に比べ高いことからバス優待乗車の利用額に上限を設け、交付時に所得額に応じた利用者負担を求め、制度を存続可能な形で維持し条例化する案、また、今回の改正は財政問題が大きな柱となっており、福祉を守る立場から予算の使い方を見直し現行制度を維持し、事業を継続すべきであるとの意見もありました。

本委員会で議論された各制度についての提案のありました点、また意見を真摯に受けとめられ、本制度が市民の皆様に理解の得る、よりよい制度として、今後の運用にあたるよう望みまして老春手帳優遇措置事業検討特別委員会の報告とします。

企画環境委員会



奥田正治
副議長
(政翔会)



副委員長
土田敏朗
議会運営委員長
(政友会)



委員長
井上昌弘
(日本共産党市会議員団)



峠宏明
議会だより編集委員
(創政会)



蔵之上政春
議会運営委員
議会だより編集委員
(政翔会)



藤本孝幸
議会運営委員
議会だより編集委員
(市民クラブ)



原田栄子
議会運営委員
(日本共産党市会議員団)



金野秀一
議会だより編集委員
(公明党市会議員団)

産業文教委員会



植村佳史
議会運営副委員長
市議会情報公開審査会委員
(政翔会)



副委員長
天野秀治
議会運営委員
(政友会)



委員長
山中益敏
市議会情報公開審査会委員
(公明党市会議員団)



北村拓哉
議会運営委員
(日本共産党市会議員団)



東久保耕也
議会だより編集委員
市議会情報公開審査会委員
(政友会)



柿本元気
議会運営委員
(創政会)



岡本志郎
(公明党市会議員団)



上原 隼
(創政会)



山口 誠
市議会情報公開審査会副委員長
(市民クラブ)

新 しい 議会の構成

() 内は所属会派名

総務水道委員会



副委員長
山口裕司
市議会情報公開審査会委員
(日本共産党市会議員団幹事長)



委員長
高杉美根子
市議会情報公開審査会委員
(公明党市会議員団幹事長)



松村和夫
(無所属)



浅川 仁
(政翔会幹事長)

建設委員会



幾田邦夫
議会運営委員
(創政会)



副委員長
大橋雪子
議会運営委員
(公明党市会議員団)



委員長
松石聖一
(市民クラブ幹事長)



森田一成
市議会情報公開審査会委員
(政翔会)



西本守直
市議会情報公開審査会委員
(日本共産党市会議員団)



北 良晃
市議会情報公開審査会委員長
(政友会幹事長)



和田晴夫
市議会情報公開審査会委員
(創政会)



矢野兵治
(新生クラブ)

厚生委員会



松岡克彦
議会だより編集委員
(日本共産党市会議員団)



副委員長
三浦教次
議会運営委員
議会だより編集委員長
(政翔会)



委員長
中西吉日出
市議会情報公開審査会委員
(創政会)



小林照代
議会だより編集委員
(日本共産党市会議員団)



岡田佐代子
(無所属)



高橋克己
議会だより編集副委員長
(公明党市会議員団)



山本 清
市議会情報公開審査会委員
(政翔会)



矢追勇夫
(無所属)



横井健二
議会だより編集委員
(創政会幹事長)



米澤 保
(無所属)



大谷 督
(新生クラブ)



船越義治
議会運営委員
(公明党市会議員団)



松田末作
(政翔会)



橋本和信
議長
(政友会)